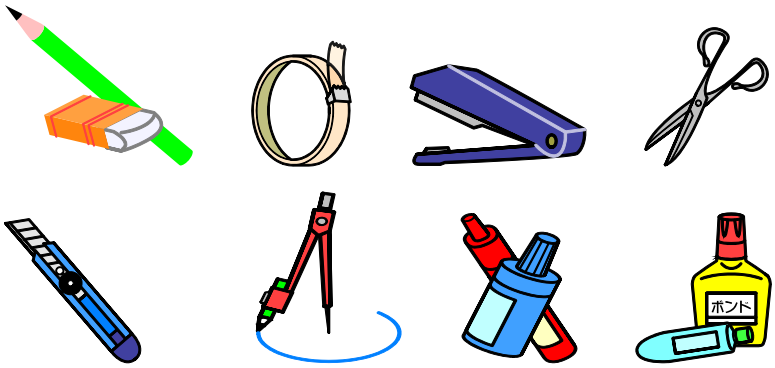
情報を正しく伝える技術（説明）

《ラベリングトレーニングをしよう》

（例１）机の中にある道具をいくつかのグループに分けてみよう。また，どうしてそのように整理したのか理由も考えましょう。

☆　情報を整理分類する力を身に付けるために，示された絵や単語をいくつかの関連するグループに分ける練習をします。

☆　特徴ごとにグループにまとめ，そのグループに名前をつけて整理することを「**ラベリング**」といいます。



※指導のポイント
ラベリングの方法は一つではありません。理由や根拠に妥当性があれば，いろいろなラベリング方法があります。

（例１）書く道具，貼る･つける道具，切る道具　等

（例２）かばん，衣類，食べ物，筆記用具　等

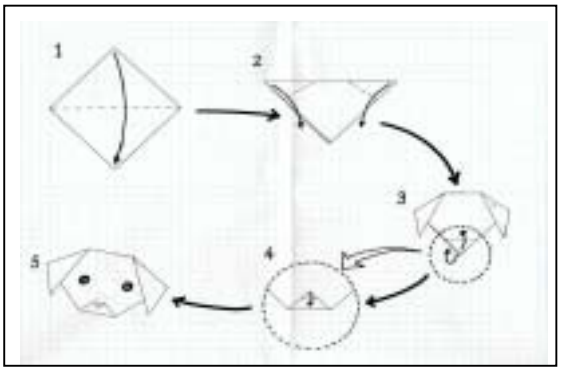
（例２）次のものをラベリングしよう。

弁当，くつ下，ショルダーバッグ，あめ，タオル，チューリップ，ガイドブック，ウエスト ポーチ，水筒，半ズボン，鉛筆，歯ブラシ，ノート，ガム，セーター

《分かりやすく説明しよう》

☆　道案内，料理やおもちゃの作り方，実施方法，準備方法，取扱説明書，組立説明書，使用方法，登録方法，クラブ活動説明会，申込方法等，説明の技術は生活のあらゆる場面で使われます。

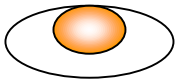
（例１）絵を見ながら，作り方を説明させる。



※指導のポイント
折り曲げる箇所と折り曲げ方をどのように説明すると分かりやすいか適切な言葉を考えさせる指導が大切です。

（例２）書かれた文章を正しい順序に並び替えさせ，適切な接続語を使って説明させる。

ア　皿に盛りつけます。
イ　フライパンにふたをします。
ウ　フライパンが温まったら，油を小さじ１杯入れます。
エ　これで説明を終わります。
オ　フライパンに卵を割って入れます。
カ　卵の黄身の上に白い膜がはってきたら，塩・こしょうをふります。
キ　フライパンを火にかけます。
ク　少々水を入れます。
ケ　これから目玉焼きの作りかたを説明します。



（答え）**ケ→キ→ウ→オ→ク→イ→カ→ア→エ**

※指導のポイント
「まず」「次に」「最後に」など，順序を表す接続語を適切に使用するように指導することが大切です。